

素人-玄人双方の為の科学者論 : その内実と外装.

2012/1/5, 8.

気候科学も経済学も生活直結、黙示録的現代では最終的には生死を決するだろう。
然るに現状では科学者(政治家も)は故障してる。何とか正常動作に修理したい。

[1] : 科学商売は一発勝負博打、本来は堅気が遣る仕事でない。だが受験勝者が.....。
一般の堅気人間が遣る商売(製造業-流通販売)は基本的に毎日の内容が確定的であろう。
博打的なのは歩合制給与の投機-高額商品営業でなかろうか。知れた事だが科学者商売は
極論すれば一発博打勝負の未知領域開拓であり、本来はなんら成功保障がないはずだ。
だから大方の科学者はカンニング=資料調査-観測実験研究者が圧倒的に多い。紙と鉛筆だ
けの基礎理論研究などでは99日が失敗で、1日の発見があれば上出来だろう。あのアインシ
ュタインはその生涯で大達成したのは加速度=重力の等価原理(全物資支配の基礎原理)、
一般相対論は著名だが、実は確証された科学ではない。**理論発見は1日作業!**、**確定検証
作業は数ヶ月程度**だろうか。残りは試行錯誤だけの毎日!!!!!!、それが科学者人生内実

素人が熟知すべきはプロ科学者とは発見栄光でなく、失敗連続にめげない人種という事、
長期失敗期間が発見を熟成させる要素になるのだろう。これは素人にも役立つ、何か強い
願望動機を耐えて持ちつづけると、いつか、かなう時が来る可能性がある。

[2] : 資本主義(主)と科学技術(従)の主従関係=サラリマン同様に資本主義に寄生。

近代世界史を要約すれば、資本主義-科学技術両輪での物質快樂文明追求になるだろう、
生活必需品+快樂品で、時代と共に後者比重が増えた。ひたすら筋肉作業を軽減し、華美豪
華虚栄競争を煽るのが石油動力現代商業主義特徴、生活必需品といえば食糧を中心に市場
限度があるので贅沢華美品市場拡大が欠かせない。そこでは科学技術発明発見が原動力、
現代社会身分制度では資本家を頂上に科学技術者は地位はそれに次ぐだろう(だが従のサ
ラリマン)。科学技術者弱みは高度技術保持者なれど、その実現には企業資本, 国家資本設
備に寄生しなければならぬ。独立自営ベンチャを除けば、それも失敗すれば破産失業。

*1992年から2007年までの15年間は日本の大学にとって激動時代。大学設置基準の大綱
化に象徴される「規制緩和」が進み、市場原理の導入、第三者評価の導入、厳密な成績評
価やFDなど学士課程教育の改革、法人化などが行われた。

*大学教授任期制度 ;

<http://www.qunion.org/siryou/ninkiseil.html>

長期野心的研究よりも、保身用の小粒堅実な実証的研究比重が増え、研究劣化が起こる
可能性がある、他方で旧帝大等では保守学閥人事も事実だった。

*国内に気候変動科学を担当する地球惑星学科は多い、だが**気候変動を研究看板に掲げる
研究者の少なさは異常-脅威!!!、そも日本には主役たるべき地球物理学会がない!!!**

*過去に北大地球惑星学科サイトでは北極は将来温度が10℃あがるの危険を掲示、今は
消されてる、海洋開発機構の北極海底深度絵図も消されてる。

[3] : 科学者弱点=以下批判に耐えられない様では“事実観察者”でない!!

(1)教師側面もあるから、**権威面子**が重んじられる。金決済の実業界より難しい面がある。彼ら弱点-失敗を暴く側面を持つ本報告の一つ難しさ。

(2)世間一般から隔絶された一種の知的権威貴族世界、実用科学で世情調査研究者等を除けば世情に疎い。“**専門馬鹿**”も多い。他方で弾圧下で政治積極参加科学者も居る。

(3)医師免許者-司法試験合格者等と類似で地位拘泥、危急時に自己保身に走る(自己虫)。強度の個室受験勉強生活は人を小人化する。この意味で紙試験合格者の公務員体質も問題になる。

(4)一オーストラリア人気候科学者が気候変動対処で、現状のこれに無力な民主主義を廃してエリート管理世界権力が必要と言う趣旨主張を掲げた書籍を出版、これに関して経済誌フォブス記者が批判、過去歴史に於いて数学上手が優れた政治指導者になれた験しがないと指摘。確かにそれはその通りであろう。なぜか???, 筆者の推定では

そもそも通常の正常な人の最大関心事は対人=人と金-権力等だろう、世間と離れて科学世界(人文科学 vs 自然科学)に興味を持つのは一種の世間隔離小人趣味ではないのか?、理工系はIQは高いのだろうが小人??!!。鳩山-菅の日本初の2代理工系総理は大失敗に終わってる。更に残念ながら日本には悲惨な実例がある。オーム真理教は理工系高学歴者多数を集めた事で有名、その教義は修行で脳内物質活性化を図るとかの理屈で理工系の個人成長志向に適合(**小乗教**)。だがその宗教集団は常識外れ他人危害の**唯我独尊集団**で破滅。米国の史上最残忍な核兵器と地震兵器開発=HAARPは無論、理工系である。欧米技術者がもっとも遣りたがるのが 軍事技術開発であると言われる。これらは確かに小人の沙汰です。

*経団連会長土光氏は技術者上がりだが、その行為は法華経信仰と言う**大乘教**動作と思われる。私学橋学園経営に高額私費を寄贈は有名。

*筆者自身も小人理工系、なぜ遣るか、物理方程式系が現実の一般化学反応系, 宇宙創始過程, 工作電磁場, 気候変動世界, 経済回路網等の近似と言えど**現実動作**を語る事に関しては**預言者**へ頼む強い動機と同じ、しかるに**論理学**こそは最小最強の頂上科学。

(5)学会は一つの利権集団村、談合して悪さを強行する**場合が現実にある(本件主題)**。

この場合は**実業界-政治権力**とも結託してる。

<http://www.777true.net/Physicists-the-Reconsideration.pdf>

(6)諜報関係視点からの科学者。

戦後日本は官僚中心政治、実はその背景に米国CIA, その思想は**国家国民は搾取対象の優生貴族哲学**。理工系者には共通した性質が見られる、一般人にできない事を遣ると言う自負心、その成果は生活-政治も直結要素があり、科学者の言論制御が政治問題になる。高自尊心-保身自己虫ならば諜報操り人形に最適資格になる!!!、しかも一度後ろめたい事実ができると強力な脅迫材料になります。その罠に落ちないように!!!、科学者に於いては研究経過過程で失敗は日常茶飯事です、意図して嘘デタラメを強行したならば、自殺行為、**矛盾は破滅直結が論理!!!**

[4]：素人-玄人の接続点。

(1)数学を使用せずに科学を説明する。

理論ができたならば、更にそれを数学を使用せずして説明できるか試すべきだ。

これは書名も人名(たぶん西欧の物理学者)も忘れたが、内容は正しいと思われま。数式を使用せずに説明は一層の本質論理の把握に通じます。専門家一部には一般人向け科学紹介書籍を軽蔑して書かない人も居る。だがこれができずで科学者使命が果たせるのだろうか。大方である公立機関科学者は多数納税者のお陰なのだから。

(2)記憶学習をしてはならない!!! **真と判るのは“当たり前(恒真式)”と判断できる事!**

学生時代でも、その他報道等でも他人学習風景を見る機会があった。然るにたとえば経済学だが、これは歴史文書を記憶するという類の科学ではないと思う。一途に文書記憶に励む学習には仰天します。必ず因果関係を追って理屈構造をこそ了解すべきで(もしできないと新しい発見になる場合がある!!!)、こうすればすべてに 응용が効くはず。よく物分りが早い賞賛される傾向がある様ですが、逆だと思。基礎原点=出発点では **100%納得** 了解まで頑固にこだわるべしです。自分も急いでこれで大怪我一步手前をよく経験します。コンピューター操作は人為約束の塊ですから馬鹿覚えしか手立てがない?!

(3)専門家も結構、間違える!!

ともかく安易に判ったなどと言わない方がよい!!!。自分がとことん納得できない限り、実はわかっては居ない、うろ覚えだけ。あたり構わず人に聞く事も決して恥でないと思。

(4)本当に判ってる場合は文章が短くなる。

本質論理を簡明に表明するから。もちろんそうでない多層な論理構成も当然あるが、それでも名段は明確でないといけない。

(5)**簡単?な正解発見法=真は一つ、Aであるか、Aでないか(肯定否定の柔軟な回転)**。

多数決は真実正義を保障しない、世間流布常識と多数派が真実とは限らない。あの巨大原発被災があった今、廃止が多数派模様だ。筆者も当初そう判断。だが実情を知るときほどに単純でない、そも廃炉は長期作業高コストになる。世界が大量石油消費になると大局長期気候変動視点では原発以上に確実致命的になる。正解と言う物は肯定否定の必ず一方であり、従って肯定否定の両面を詳細検討で天秤に賭ける **柔軟回転** さが有用。現代日本と世界の一つ悲劇は従来巨大常識(石油巨大物質文明=資本主義国際体制)が致命的誤りであり、その回転(否定=revolution)での正解到達が無い事だろう。

従来常識Aでは一向にうだつが上がらないどころか、泥沼突入となれば、一度はnot A(否定)して転換して見る以外に手立てが無いではないか!

<http://www.upsidedownworld.Org/>

(6)現行文部省下学校では絶対教えない問題発見の超重大性!!!:

(6, 3, 3, 4) 制度下では教師が生徒に既に解答がある問題をひたすら解かせる学習、だが現場実力は問題発見能力の方にこそある。しかも解答は誰が出しても良いのだ。問題発見能力こそが国家社会実力を決めるだろう。“**問題なし**”は保守政治根幹だから。

[5]: 世界もさしてあてにならない!!!

明治以後日本人は西欧物質文明に圧倒された結果、大方が西欧崇拜を潜在させてる。従来筆者もそうだったが、世界実情を知るに付け、それでは破綻する事が判った。

西欧物質文明=国際資本主義体制が全球的に波及した今の世界はある意味で**価値感の収束=一つ化**が起きてる。**経済=金と物の獲得最優先政治**、要するに世界はこの価値感で単一化が起きており、欲得からみだから指導者も大衆も固執頑固になってる。しかもそれは企業個人間、国家間争奪競争でもある事だ。この視野狭窄症は致命的になるだろう。

(1)分析主義(視野狭窄症)の破綻。

現代最大特徴は**専門家支配**であろう、欲望肥大の結果の技術主義支配は、専門家抜きでは実業界-行政界共に運転できない、だが文字通り専門家であって、全体を矛盾無く統合する一般家でない。大方の経済学者は気候変動問題を無視、気候科学者は経済が判らない。**専門家と言うのは利得一面だけを見てそれを最大機能発揮すべく操作する、損失面は往々に無視されるのだ。**通貨資産肥大は負債肥大との両輪を無視してるし、石油動力文明は生存環境を大規模に破壊して致命的症状を呈してきてるのに不都合は隠蔽。世界金融破綻を見ても気候変動進行を見ても世界は統合能力喪失症であろう。

(2)高みにある者が凋落に面すると保身一途で悪魔化が起きる<現代最頂上問題>。

*神は天使たちにアダムの前に跪く事を命令、だがサタンのみが反抗、言い分によれば奴は土から作られ、自分は smokeless fire から作られた。上等な自分は頭を下げれない。かくて天界から下放。サタンは神の真っ直ぐな道にある人類に復習を誓う(コラ-ン)。

***敗戦よりも革命が恐ろしい**(近衛文麻呂)。

米国から中国撤退を迫られた日本, 応じれば国内革命と恐れて勝ち目の無い地獄日米戦へ、

(a)世界帝王D. ロックフェラ<その実働部隊がナチス CIA-軍産複合体~最終決戦作戦>。

民主化現代世界とは言われるが、実態は欧米貴族-超資本家族 1%の 99%世界支配が真相。彼ら頭は常時、己地位護持のみの超保守主義自己虫、これが世界を悲劇どん底に落とす。石油資本ロックフェラ-こそは気候変動第一責任者=IPCC 科学者を抑圧して破滅推進。

<http://www.777true.net/IPCC-the-injustice.pdf>

(b)最終決戦作戦(OPERATION ENDGAME) ;

気候変動危機、局地戦争危機を世界的に推進, 優生族が人類 80%削減の作戦。

現状世界進行を見ると、これを妄想と拒否する事はできないだろう。

<http://www.777true.net/Mankind-destiny-anti-Christ.pdf>

(c)ビルダーバーガー-

上記の貴族-超資本にかしづく世界エリートの世界秘密会合。その結果を見る限り、

敗戦よりも革命が恐ろしいの超保守主義自己虫の世界策謀になるであろう。

(c)中産階級大規模没落と内部紛争化回避=連帯と団結!!!

今後世界は一層急迫して誰もが危機を迎えるだろう、そこで天国と地獄を別けるは何か?。

[6] : されど世界と結託する以外に手立てが無い(国常立尊)!!!。

(1)指導力破綻の向こう側に見える事!

現状世界を見る限り, 気候変動-経済破綻の双方で明確な決定打は見当たらない。

紛れも無く**指導力破綻演技**。一部には確実にもける勢力も、と言う事は貧富格差拡大への加速傾向、これを突き詰めるとどうなるか?。多数派貧困層の抑圧警察国家体制、気候変動進行では**生活基盤大規模破壊と飢餓世界突入**、そして最終決戦世界[5](2)(b)へ、

(2)誰もがピンチにある現状世界、なればこそ救済手段提供こそが歓迎される。

上記事情を読み解けば、世界が何を必要としてるかはおのずと決まるだろう。

指導力と言う技術確立、その背景は正確な現状認識とそこから派生する対処案。

結局、これは政策技術力であり、確かに科学者-技術者出番である訳です。

(3)孫子の兵法：五つの基本事項とは、一に道、二に天、三に地、四に将、五に法。

「道」とは民衆に君主と同じ目的を抱かせるような政治の在り方。普段からそういう政治を行えばこそ、いざ戦争という時、民衆は君主と共に死し共に生きる事に疑いを抱かない。

☞：現状日本と世界は民衆と君主(指導エリート)目的が離反した国家国民は優生貴族の搾取対象と言う旧態思想支配が癌になってる事。

付.気候の安定化に向けて直ちに行動を！-科学者からの国民への緊急メッセージ(2007/2/2)-

http://www.env.go.jp/earth/ipcc/4th/message_main.html

*高い経済成長を目指す社会が続くならば、今世紀末に平均気温の上昇は、4.0℃ (2.4~6.4℃)に達すると予測されている。21世紀中に大規模かつ急激な変化が起こる可能性はかなり低いものの、.....

この一文は全くの間違い、そも直ちに行動を！に矛盾、全くそぐわない。2℃上昇(COP16メキシコ会合決定)は破滅温度(J.Hansen). I P C C同様に決定的な北極メタン破滅問題言及が無い。そのI P C Cですらバレンシア2007/11/17日声明に気候変動の大きさ速度程度次第では**急激不可逆な気候変動衝撃可能性**があると警告してる。